四島（しま）のかけ橋

第 51 号
平成24年８月31日
（金曜日）

発行所
北方領土返還要求運動
神奈川県民会議
〒231-8588 横浜市中区日本大通１
TEL 045-210-1111 内線3617
発行人　綾　井　祐　一

北方領土返還要求運動神奈川県民会議
平成24年度総会を開催

北方領土返還要求運動神奈川県民会議では、七月二十六日（木）午後三時三十分より、横浜市中区山下町の「ワークピア横浜」三階会議室「いちょう」において、平成二十四年度総会を開催しました。

次いで、第二号議案平成二十三年度事業報告、第三号議案平成二十三年度収支決算及び監査報告、第四号議案平成二十四年度事業計画（案）、第五号議案平成二十四年度収支予算（案）を全会一致で承認しました。

◇竹内英明会長◇

神奈川県議会議員（横須賀市選出）。平成七年に初当選以来、連続五期当選。この間、福祉推進対策特別委員会、県民企業常任委員会、厚生常任委員会、神奈川県行政に係る基本計画等調査特別委員会、予算委員会、不適正経理再発防止等調査特別委員会の各委員長を歴任。

自由民主党神奈川県支部連合会幹事長。

平成二十四年五月、神奈川県議会議長に就任。神奈川県出身。六十一歳。

新会長に竹内英明県議会議長を選任

午後三時三十分、楯岡領土問題対策協会（神奈川県推進委員）が議長として会議を進行しました。

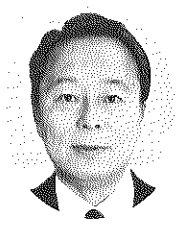
神奈川県県民局総務課長による開会の辞で始まり、綾井理事（独立行政法人北方

第一号議案役員の選任については、選出母体の役員改選により、会長には、前神奈川県議会議長の持田文男氏に替わり、先の県議会で新たに神奈川県議会議長に就任した竹内英明氏を、副会長には、前日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会会長の佐野博之氏に替わり、同会長の宮澤泰隆氏を選出しました。また、理事及び監事については、任期満了を迎えた神奈川県農業協同組合中央会常務理事の瀬戸浩一氏以下七名をそれぞれ選出（再任）しました。（新役員は、下記平成二十四年度役員名簿のとおり。）

平成24年度総会

会長就任にあたって

神奈川県議会議長　竹内英明



神奈川県議会議長の竹内です。冒頭に、県民会議の皆様が、普段から、北方領土の返還に向けてご尽力されておりますことを、この場を借りて厚く感謝申し上げます。

大変な責任を感じながら、しっかりとがんばってまいりますので、改めてご指導をよろしくお願いしたいと思います。

昭和六十年の十一月に発足して、この会もちょうど二十八回目の総会と伺っております。これは国民全員の思いだと思いますけれども、戦後六十六年が経った現在も、依然として北方領土の返還がされていないということ、このことは残念でまらないし、遺憾なことだと私自身も思っております。

これから北方領土問題が過渡期に入るかという状況の中で、七月二日、メドヴェージェフ首相の国後島訪問をマスコミのテレビ等で見ていて、大変な憤りを覚えたのは私一人ではないと思いますし、多くの国民がかなり感情を傷つけられたし、不安を持ったことだろうと思います。

こういったことを受けて、政府にはしっかりと戦略を持って、この返還のためにあたってもらいたいという強い思いがございます。

もしかすると多くの国民の中には、このことにあまり興味がなかったり、知らない方もおられると思いますが、私たちの仕事は、一人ひとりの国民にこのことの重さを訴え、理解を深めていくことであり、そして国民全員が一丸となってこの返還に声をあげていくことが、何よりも大事だと思っています。

これから会長として任を果たして参りますので、皆さんのご指導とご支援を賜りたいと思っています。

重ねて皆さんの北方領土返還に対する不断のご支援とご協力に心から感謝を申し上げて、一言あいさつに代えたいと思います。

これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成24年度役員名簿

役職名	氏名	団体等の職
会長	竹内英明	神奈川県議会議長
副会長	白石俊雄	日本労働組合総連合会神奈川県連合会顧問
	宮澤泰隆	日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会会長
事務局長	柏木教一	日本労働組合総連合会神奈川県連合会事務局長
理事	塚原良一	神奈川県商工会議所連合会専務理事
	瀬戸浩一	神奈川県農業協同組合中央会常務理事
	松尾美智代	神奈川県地域婦人団体連絡協議会会長
	井上早苗	川崎市地域女性連絡協議会会長
	松井佑子	横浜市女性団体連絡協議会会長
	綾井祐一	北方領土問題対策協会神奈川県推進委員
監事	亀井昇	神奈川県傷痍軍人会会長
	嶋田幸雄	神奈川県中小企業団体中央会専務理事

灯台

推進委員報告（その四）

念願であった教育者会議が五月二十四日に設立されました。全国で四十番目となります。会長には県立伊勢原高等学校の土佐和樹校長に就任いただきました。今後は教育者会議を通して中学校、高等学校の先生や生徒の皆さんに北方領土問題を学んでいただき、若い世代へ引き継いでいきたいと念じております。

毎年二月に「北方領土問題教育者会議全国会議」が開催され、内閣府、外務省、文部科学省からの取組報告及び各都道府県からの活動報告があり、取組や課題などが討議されます。参加いただく先生には日頃ご多忙と思いますがよろしくお願いいたします。

さて、去る七月三日、ロシアのメドヴェージェフ首相が我が国固有の領土である国後島に足を踏み入れました。大統領就任中の平成二十一年十一月に続き二度目となります。このことは四島の不法占拠を既成事実化するという我が国に対する挑戦と受け止めざるを得ません。この暴挙に対して、西山吕男北方領土返還要求運動都道府県民会議全国会議会長（北方領土返還要求運動高知県民会議会長）は川端達夫内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）へ緊急要請を行い、政府においては「北方四島を絶対に取り戻す」との毅然たる姿勢で、ロシアとの交渉を積極的に進めていただきたいと申し入れしました。

ロシアの領土戦略に対して我が国の外交戦略が見えてきませんが、政府には全国の返還要求運動県民会議をはじめ民間での活動を踏まえ、積極的な交渉を願って止みません。

（綾井）

神奈川県北方領土問題教育者会議が設立されました!!

神奈川県北方領土問題教育者会議設立総会の様子

平成二十四年五月二十四日（木）、「ワークピア横浜」において、神奈川県北方領土問題教育者会議の設立総会が開催されました。

(一)北方領土問題教育者会議とは？

北方領土問題の解決のためには、粘り強い取組みが必要であり、次代を担う青少年への啓発、返還要求運動の後継者の育成が運動の重点課題となっています。

これらを踏まえ、学校教育における教育者が果たす役割が今後ますます重要になってくるとの認識のもと、北方領土教育の充実・強化を図るため、独立行政法人北方領土問題対策協会では全国四十七都道府県で「北方領土問題教育者会議」の設置を進めています。

神奈川県北方領土問題教育者会議では、会長に県立伊勢原高等学校校長の土佐和樹氏を選出し、今後、生徒達に対する啓発活動などに取り組んでいきます。

また、設立総会に先立ち、平成二十四年五月十八日に「学習会」を開催し、択捉島元島民の三上洋一氏に「北方領土の早期返還を求めて」というテーマでご講演いただきました。

(二)「北方領土に関する作文コンクール」の作品を募集中です！

神奈川県北方領土問題教育者会議の今年度の事業として、「北方領土に関する作文コンクール」を実施しています。

次代を担う若い世代が北方領土問題を身近な問題として捉え、関心を持ち、北方領土に関する歴史等を正しく理解することを目的としています。

会員の皆様方の周りの青少年にも、応募の働きかけを是非お願いします。

○募集作品

北方領土について（歴史的経緯、解決方法、返還後のビジョンなど）考えたこと、学習したこと、友達や家族で話し合ったこと、身近で体験したことなど北方領土に関する自由な内容の作文

○募集〆切

平成二十四年九月二十日（木）※当日消印有効

○対象

神奈川県内在住または在学の中学生及び高校生

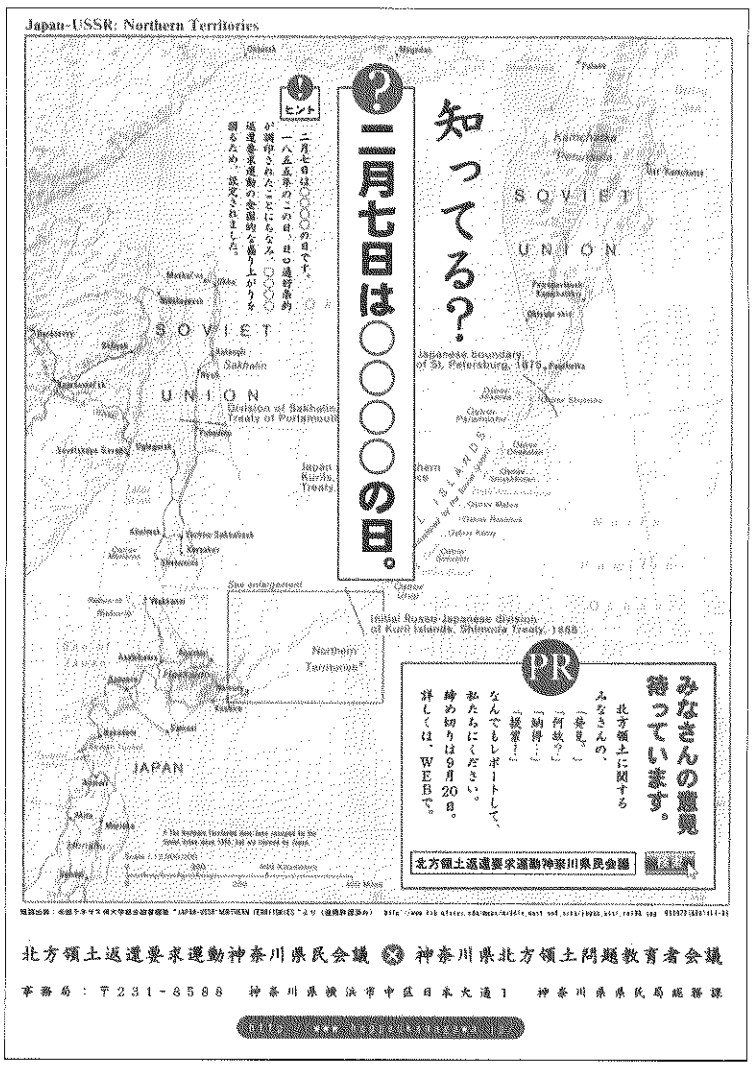
○応募方法

○○○字以内（様式は任意）

○各賞

中学生最優秀作品　一名（副賞：図書カード一万円分）
中学生優秀作品　三名（副賞：図書カード五千円分）
高校生最優秀作品　一名（副賞：図書カード一万円分）
高校生優秀作品　三名（副賞：図書カード五千円分）

※応募先等詳細については、県民会議HP（http://www.hoppoukanagawa.jp/）をご覧ください。



神奈川県北方領土問題教育者会議　学習会
講演「北方領土の早期返還を求めて」（三上洋一氏）から

一般に、領土返還のためには戦争、経済的解決、情報収集と発信、信頼関係の構築の四つの方法があると言われています。

戦争は平和憲法を持ち出すまでもなくやってはならないことですが、それぐらいの決意と外交の力で解決しなければなりません。経済的解決は技術支援や賠償など、ロシア本土やモスクワへの発信も重要ですし、インターネットやラジオも使っていく必要があります。質だけでなく量を伴った情報発信とそれを裏付ける信頼関係が必須です。そのためには、この問題を一貫して統一的・継続的に考える機関、例えば北方領土問題研究所の設立が必要と考えられます。

外交問題は国内問題とも言われ、国民の後押しなしには交渉の進展はあり得ません。我が国の将来を担う若い世代も、北方領土問題をよく理解し、深い関心を持って考えることができるようご指導をお願いいたします。

第28回 北方領土返還要求運動 神奈川県民大会

日　時：平成24年11月20日（火）18時～19時45分
場　所：横浜情報文化センター　情文ホール
内　容：記念講演、北方四島交流訪問事業報告ほか

皆様、ふるってご参加ください。

目で見る北方領土2012のご案内
（視察研修事業）

期　　日：平成24年10月31日（水）～11月2日（金）
参 加 費：64,900円
視察予定地：海上からの北方領土視察、納沙布岬、北方館、北方四島交流センターほか
定　　員：22名（最小催行人員15名）
申込み締切：平成24年9月20日（木）

今回は、「海上から見る北方領土」視察を新しく企画しました。ぜひ、ご参加ください！

新会員のご紹介

今年に入り、新たに二団体の方々に加入いただきました。

新規加入の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

県民会議としても、これを機にさらに活動を前進させていきたいと思います。

（会員名簿順）

○神奈川県産業廃棄物協会様
○神奈川県生活協同組合連合会様
○神奈川産業振興センターKIP会様

編集後記

持田前会長、一年間ご尽力いただきありがとうございました。特に教育者会議の設立に際しましては、神奈川県教育委員会への働きかけ等、お世話いただき、お陰様で設立に至りました。県教育委員会も積極的に応援いただいております。ありがとうございます。

平成二十四年度は竹内英明県議会議長に会長にご就任いただきました。会長からは会員増強など力強い応援の言葉をいただきました。どうぞ一年間よろしくお願いいたします。

（綾井）